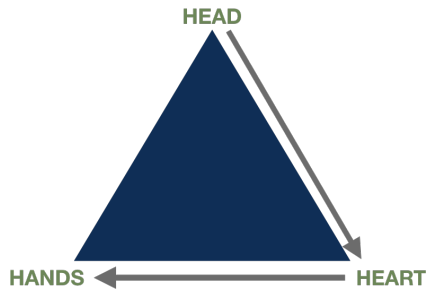


## 福音中心の聖書勉強/ディスカッションの導き方



**1. 頭（情報）：** 歴史的背景の要点に注目する。著者の本来の意図は何か、聖書箇所が直接的に伝えている内容、そしてそれがどのように幅広い文脈と繋がっているか、など。

**2. 心（変革）：** その聖書箇所が、堕落した心の状態について何を伝えているかに注目する。その聖書箇所が私たちに何をどのように言っているか、もしくは何ができていないか、その基準を満たしていないかを考える。それには心の偶像がどのように私たちを堕落させているかについても含まれる。さらに重要なのが、キリストが心の偶像に対する解決として、どのように示されているかを考える事である。キリストは単なる例えや模範ではなく、救い主である。

**3. 手（適用）：** 私たちがすべきだと理解しつつできない事に対して、その聖書箇所はどう語っているか。キリストの十字架の業の結果として、不完全ではあるが私たちにもそれは可能である（聖霊の助けと力により）。**注意：** 三角形の矢印は頭から心、そして手に向かっていて、頭から手には向かっていない（それは福音の無い道德主義の聖書の適用である）。また、頭から心へ、福音への従順の無い**認可主義**の考えで止まる事もない。福音は私たちに手で仕える動機を与える。

### 基本的な解釈:

**A) 聖書釈義 対 主観的解釈 (Exegesis)** 聖書釈義とは、その聖書箇所が実際に何を語っているのかを説明する事である。聖書勉強のディスカッションを導く、もしくは進行役をする際、他からの考え方や憶測を取り入れる前に聖書箇所をよく吟味する事が重要である。その一方で主観的解釈 (**Eisegesis**) は、聖書箇所が実際に語っていないことを読み取る方法である。私たちは必然的に異なる文化背景、近代の価値観、経験を元に聖書を読むが、主観的な読み方はできる限り避けるべきである。

**B) 福音対律法主義または認可主義:** 聖書勉強の目標は、神を知る事である。ただ情報を得ることではなく、心の変革である。このようなアプローチにより、神は単なる学びの対象ではなく栄光ある礼拝の対象となる。聖書箇所がどのように恵みの福音を指しているかを理解する事がとても重要である（それが聖書の中心である）。福音は律法主義でも認可主義でもない。聖書勉強では特定の聖書箇所が律法主義または認可主義に導く可能性がある事に気づくことも重要である。さらに重要なのが、直接的そして広い文脈の中で（明確にもしくは暗喩として）どのように福音を指しているのかを理解する事である。下記の質問を見てみよう。

**C) 福音のレンズを通して答える質問:** 下記は福音のレンズを通して聖書勉強を導くための質問である。これらの質問は全て聖書勉強の中で律法主義また認可主義を避ける事により、最も良い答えを得られる。

- 1.この聖書の章/節は神の性質や品性についてどう述べているか？（つまり、神の聖さ、愛、主権、恵み、神聖なる忍耐についてなど）
- 2.これらの章/節は、自分の罪/墮落した状態にどう語りかけているか？
- 3.この聖書は何をするように命じ、自分はそれをできない/もしくはしようとして失敗しているか？
- 4.この聖書箇所は動機についてどう語っているか？もしくは、心の偶像を悔い改める事に対してどう語っているか？
- 6.この聖書箇所はどのようにキリストと、キリストが十字架で成し遂げられた業を指しているか？
- 7.この聖書箇所はどのように神を賛美し感謝する事へと導くか？

**8. この聖書箇所は私の今日の祈りに何を教え、どのように導き、祈りを豊かにするか？**

**9. 神はこの聖書箇所を通して私に今日何をしよう語りかけているか？**

## 留意点:

a) 聖書勉強を導く立場として、神の御心にかなった悔い改めの模範を示し、適切な状況では弱さを見せるべき時もある。聖書箇所が自分に個人的に語りかけるようにしよう。

b) 上記の質問にグループで取り組み、時間を与えよう。グループの中で会話を独占している人がいれば、時間の制限と資料の内容を網羅する必要があることも考慮する。グループの人々に簡潔にコメントするようお願いしよう。もし常に黙っている人がいれば、その人も参加できるように配慮しよう。

c) 自分自身とグループのために祈ろう。ディスカッションを祈りで始める、もしくは誰かに祈ってもらい、終わる時も祈りで締めくくろう。祈る時間を持つ事により、グループを熟考、悔い改め、喜び、福音を祝福する事へと導くことができる。

For more Japanese gospel-centred resources, please visit.

[www.thebridgejapan.com/japanese-gospel-centered-resources](http://www.thebridgejapan.com/japanese-gospel-centered-resources)